



Special Olympics
Nippon
Toyama

No. 34
2011/12/18

ハートフル・ニュース

発行：スペシャルオリンピックス日本・富山 会長 藤井裕久

URL <http://www.son-toyama.jp/>

事務局：〒939-8208 富山市布瀬町南2丁目10-14

090-6273-3129 (電話)、076-400-7736 (ファックス)

Email: info@son-toyama.jp

スペシャルオリンピックス (SO) とは、知的発達障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SO では、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。SO の活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界 170 ヶ国以上で 370 万人のアスリートと 85 万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に 4 年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約 110 名のアスリート会員が 9 つの競技種目に取り組んでいます。



11月27日(日)、2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島トーチラン in 富山の最終区間の力走

■今季のエッセイ

スペシャルオリンピックスが与えてくれるもの

「国家があなたに何をしてくれるかではなく、あなたが国家に対して何ができるかを考えてほしい」これは、故ケネディ元米大統領の就任演説の中の一節です。そのケネディ氏の妹、ユニス・ケネディ・シュライバーが自宅の庭で始めたスペシャルオリンピックス (SO) は、40 年以上経った今、世界 170 か国以上でその活動が行われています。

私自身も SON・富山の活動に参加してから約 7 年が経過しました。最初は「ほんのちょっとのお手伝いだけ」というつもりで始めたこの活動に、これほどまで長く、深く私を関わらせたものは何でしょうか。それは、SO がその活動を通じて私に与えてくれる、たくさんの方との出会い、感動、充実感などの様々な「無形の財産」ではないかと思えます。そして、この「無形の財産」を SO でより多く得るための一つの法則に私は気付きました。その法則とは…

「SO が私に何を与えてくれるかではなく、SO の理念の達成のために私に何ができるかを考えること」です。ん？ この文章どこかで見たような…。そうで

スポーツプログラム委員長 戸田武宏

す！ 冒頭のケネディ氏の演説の精神に似ているのです。ケネディ氏と SO には、こんな共通点もあったのですね。

SO はスポーツトレーニングや競技会を通じて知的発達障害のある方たちの自立や社会参加を促すだけでなく、地域社会にも働きかけ、知的発達障害者を理解し、受け入れるようにするという理念があります。その理念の達成の道のりはまだまだ長く、険しいかもしれませぬ。しかし、道の途中にある一つひとつのプログラムや競技会、イベントに力を注げば注ぐほど、これからもきっと多くの感動や充実感が得られることと思えます。

さあ、皆さん！ SO の活動にもう一步深く踏み込んでみませんか。そして、一人でも多くの方たちと一緒に参加してみようではありませんか。その時に得られる「無形の財産」は私たちの人生をきつとより輝かしく素晴らしいものにしてくれると信じています。どうか、よろしく願いいたします。